



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局	配布日時	平成30年7月25日 14時00分
資料配布		

件名	<p align="center">管理者ニーズに民間技術がマッチング 課題解決に向け現場で検証！</p> <p align="center">～ 橋梁の近接目視点検を支援する技術 ～</p>
----	---

概要	<p>○「インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム」では、平成29年7月28日に開催した「第1回ピッチイベント^{※1}」で、<u>施設管理者等が抱える課題に対し、民間企業者等からプレゼンテーションを行っていただいたシーズ技術^{※2}のうち、課題（ニーズ）とマッチングした技術について、<u>現地における実証実験を行うこととなりました。</u></u></p> <p>※1 短い時間で自社の製品やサービスを紹介（プレゼン）するイベント ※2 メーカー・企業などが提供する技術や商品等</p> <p>■課題（ニーズ）：橋梁の近接目視点検を支援する技術、または打音検査を支援する技術 [提案者：滋賀県]</p> <p>■シーズ技術：橋梁の近接目視点検を支援するカメラ技術等の活用 [提案者：内外構造(株)、(株)日立産業制御ソリューションズ]</p> <p>○実証実験概要</p> <p>■日 時：平成30年7月27日（金）13:30～17:00（予定）</p> <p>■場 所：滋賀県守山市勝部三丁目地先</p> <p>■実験実施者：内外構造(株)、(株)日立産業制御ソリューションズ</p> <p>※取材をご希望される方は、直接現地にお越し下さい。</p> <p>(参考) 「インフラメンテナンス国民会議」とは、社会全体でインフラメンテナンスに取り組む機運を高め、未来世代によりよいインフラを引き継ぐべく、産学官民が有する技術や知恵を総動員するために設立されたプラットフォームです。 (詳細はhttp://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/index.htmlをご参照下さい。)</p>
----	---

取扱い	—
-----	---

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
------	--------------------

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局	
	企画部 事業調整官	そうがわ ゆうさく 寒川 雄作
	企画部 企画課課長補佐	かわしま たかひろ 川島 隆宏
	TEL : 06-6942-1141 (内線 3116、3156) 、06-6942-4090 (直通)	

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム

実証実験のお知らせ

「インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム」では、平成29年7月28日に開催した「第1回ピッチイベント」の結果、施設管理者が抱える課題解決の可能性が高いと判断されたシーズ技術について、次のとおり現地において実証実験を行います。
つきましては、実証実験の見学参加者を募集します。

【実証実験概要】

■実験日時：平成30年7月27日（金）13:00受付開始 13:30～17:00（予定）

■実験場所：滋賀県守山市勝部三丁目地先（〔別紙1〕実証実験位置図 参照）

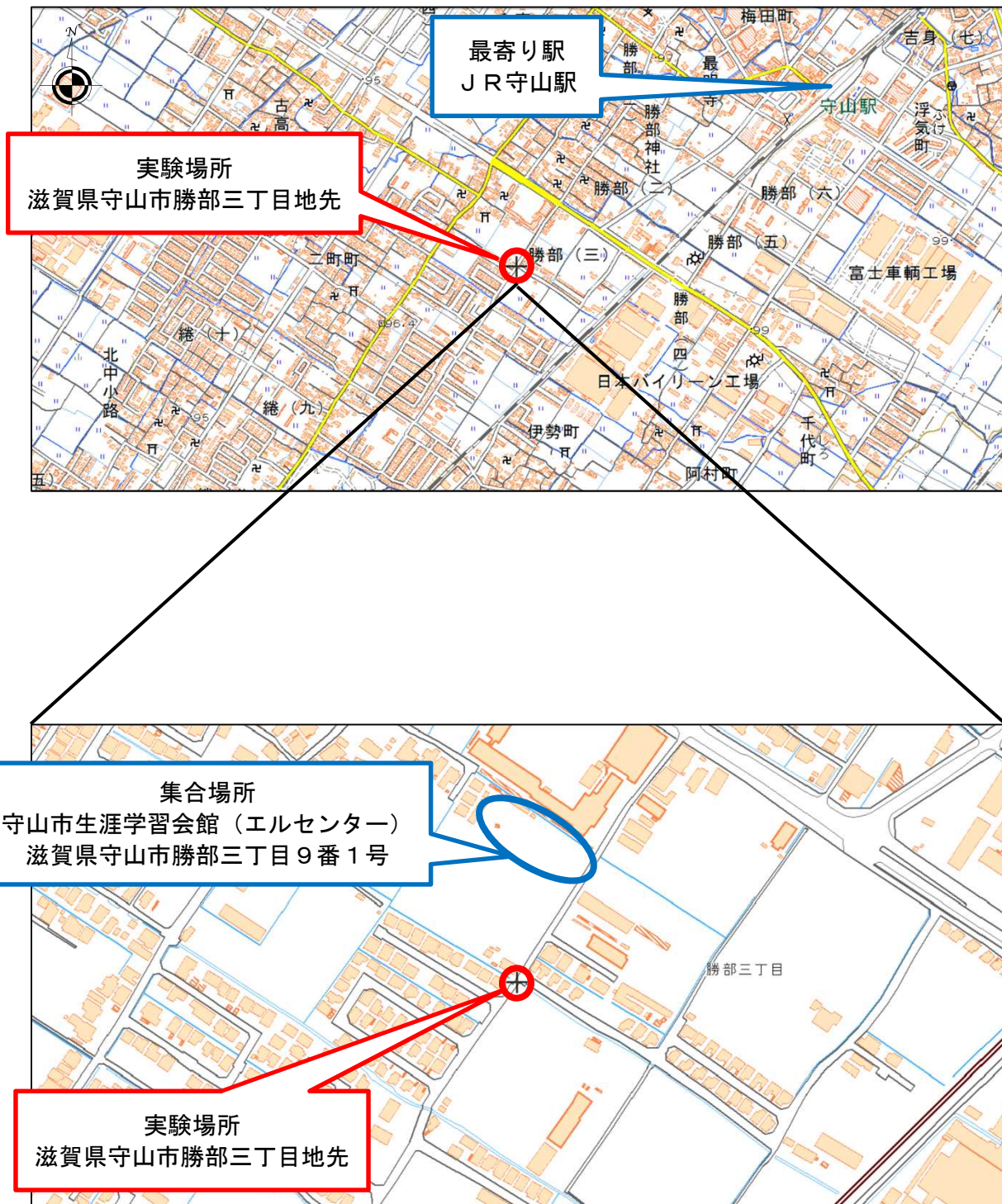
■集合場所：守山市生涯学習会館（エルセンター）
（滋賀県守山市勝部三丁目9番1号）
※ 駐車場有

■施設管理者の課題（ニーズ）【施設管理者：滋賀県】

求める技術：橋梁の近接目視点検を支援する技術、または打音検査を支援する技術
条件：桁下が狭隘で点検員による近接目視が不可

■実験実施者：内外構造(株)、(株)日立産業制御ソリューションズ
「橋梁の近接目視点検を支援するカメラ技術等の活用」

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 実証実験 位置図



1. 実証の内容

今回の実験は、点検員による近接目視が困難な場所で実験を行う。主な実証項目は、カメラ機材の水路内への進入と操作、カメラ装置附属の計測機器の使用、点検支援状況について確認を行う。

使用するカメラは、操作用タブレット端末により無線を介して操作する。
近接目視点検を支援する主な機能を下記に整理する。

(1) カメラの遠隔操作

①タブレット端末画面には被写体が映し出され、静止画・動画撮影(光学30倍)と記録が可能。

※今回は被写体までの距離が30cmに満たない場合もあるため、近傍における撮影確認を含む。

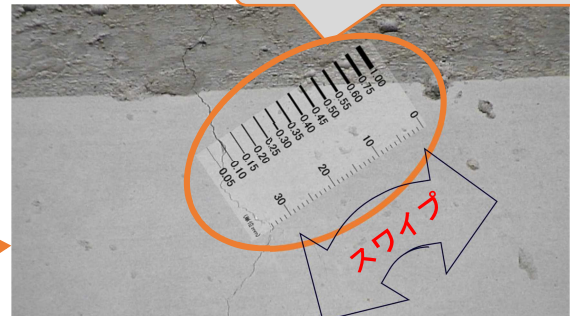
②カメラ雲台の上下左右への首振り操作。

(2) タブレット端末画面上における計測機能

①画面上にはデジタルスケールが表示され、画面タッチによるスケールの移動(スワイプ)により、ひび割れの幅・長さを確認。スケールはカメラのズームに合わせて倍率調整が可能。



タブレット操作状況

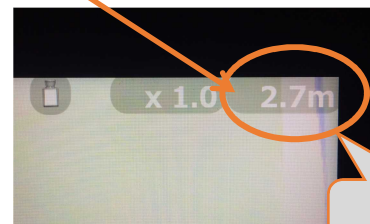


画面表示状況

画面上をスワイプにて移動が可能

②カメラ装置に付属するレーザーによる距離計測

LRF(レーザーレンジファインダ・測域センサ)を搭載し、被写体までの距離を画面上に表示する。



画面上に表示された計測結果

(3) 現場点検時に点検要領に照し合せた判定支援

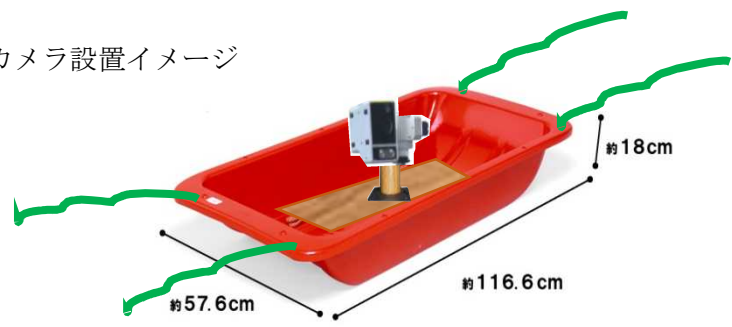
①カメラからの画像・映像と、計測ツールの活用により、点検要領に定められた点検項目の判定支援が可能。計測はクラックスケールおよび定規状ツールによるもので、触手を要する行為がタブレット端末の画面上にて行うことができる。

(4) その他

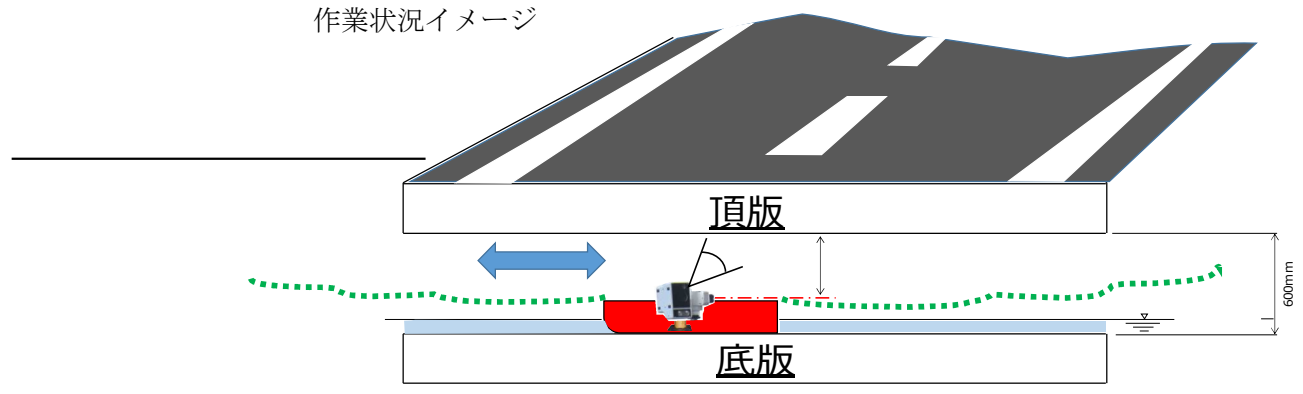
装置および実施方法等の課題および問題点を整理し改善方法を考える。

2. 作業イメージ

カメラ設置イメージ



作業状況イメージ



3. 現地状況の写真

下流側-1



上流側-1



下流側-2



上流側-2

